

タブレットで手軽に使える！

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

学びのデジタルガイド2023



「深い学び」に
つながるヒントが
たくさん！

「見方・考え方」
を育む授業の
ポイントが分かる！

授業と日常を結び
付ける活動やお話
が満載！

内容 Contents

 本ガイドの使い方

 資質・能力の三つの柱

小学校
国語



小学校
算数



小学校
理科



中学校
国語



中学校
数学



中学校
理科



中学校
英語

ABC
D

 探究活動例

 事例一覧

 指導資料

本県では、全国学力・学習状況調査の結果を今後の指導に生かすため、学力向上実践推進委員会において、毎年、調査結果の分析や研究を行っています。その成果物として毎年冊子を作成し、「学力向上シンポジウム」において配布及び、その内容について周知するとともに、HP上に公開しています。

国では、GIGAスクール構想により児童生徒に1人1台端末が整備されるとともに、デジタル教科書の試験的導入も進んでいます。授業中の児童生徒だけでなく、教員においても、教材研究や成績処理等様々な業務にICT機器を活用する環境が整ってきています。これらの状況を鑑み、昨年度より紙面による冊子の配布を取りやめ、先生方一人一人のタブレット等で気軽に見て活用していただくために、電子媒体での配布としました。

本ガイドを教材研究や授業に活用していただくことで、すべての先生方の指導方法を改善する一助となることを期待しています。

令和6年1月
兵庫県教育委員会



本ガイドの使い方 How to use

本事例は、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題が見られた設問を中心に課題を克服することを目的とした授業改善例を示しています。
各校種・教科を4つの観点で構成しています。
特徴は、以下の2点です。

- ①「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」に焦点を当てています。
- ②授業と日常生活をつなぐ活動や視野を広げるお話などを事例にプラスしています。

1

小学校 国語

各教科等の「見方・考え方」を示しています。

見方が「見方・考え方」を働かせるためには、
設問が「見方・考え方」を働かせるための問い、活動が「見方・考え方」を働かせるためのポイントを示しています。

取り上げる学年・教材・場面において、
評価の観点を示すとともに、「見方・考え方」を働かせるために具体的な項目を示しています。

2

2022 小学校 国語 「このような授業にしていましよう」

1)で取り上げた項目について、3つの場面に応じた
具体的展開例を示しています。

①追究したくなるような「見方・考え方」に通じる課題の工夫

②学び合いにより「見方・考え方」が浸透する工夫

③振り返りなどで「見方・考え方」を学ぶ意義を感じられる工夫

4

小学校 国語 「このような授業にしていましよう」

振り返りなどで「見方・考え方」を学ぶ意義を感じさせる工夫

この3つの場面は、「令和3年度全国学力・学習状況調査の課題を踏まえた学習指導等の改善・充実のポイント」、「学びに向かう力」の育成P14の場面を踏襲しています。これまでの学びのサイクルの中で、「見方・考え方」を働かせることを意識しています。

3

2022 小学校 国語 「このような授業にしていましよう」

学び合いにより「見方・考え方」を浸透させる工夫

「学びに向かう力」を育成する学習過程 (次ページ参照)

「見方・考え方」

各教科等の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方です。「見方・考え方」は、新しい知識・技能を既に持っている知識・技能と結び付けながら深く理解し、社会の中で生きて働くものとして習得したり、思考力・判断力・表現力を豊かなものとしたり、社会や世界にどのように関わるかの考えを形成したりするために重要なものです。今回は、いつもの授業に「子ども達が『見方・考え方』をどのように働かせるのか」という意識をプラスすることで、「見方・考え方」を軸としながら、幅広い授業改善の工夫ができるように事例を作成しています。この事例を参考にして、授業を行う学年及び単元における授業計画を作成してください。

「日常生活とつなぐ」

授業と日常生活をつなぐ活動や視野を広げるお話などを事例にプラスすることで、学習を家庭や地域へとつなげることができます。授業の進捗に応じた振り返りの時間や、家庭での自主学習など、探究につながる活用ができます。黄色の丸をクリックすることで、プラスの内容が表示されますのでご活用ください。



家庭で確かめたり
発展させたり
できる活動を紹介
しています。



詳しく説明したり
実社会で活用
されたりしている
お話を紹介して
います。



詳しく学ぶことが
できるように
関係する
ホームページを
紹介しています。



資質・能力の三つの柱

資質・能力の三つの柱と、そのひとつである「学びに向かう力・人間性等」について

資質・能力の三つの柱のうち、「学びに向かう力、人間性等」は児童生徒が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる資質・能力であり、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素です。

小（中）学校学習指導要領（平成29年告示）第1章の第4の1の(1) 抜粋

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

具体的には主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等があり、自分の思考や行動を客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものです。また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれます。

学習指導要領においては、児童生徒が自主的に学ぶ態度を育み、学習意欲の向上に資する観点から、以下のとおり見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動について示しています。

児童（生徒）が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫すること。

平成28年12月中教審答申別添資料抜粋

文部科学省HPより抜粋(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/mext_01500.html)

「学びに向かう力」と学習過程との関係

学習の目標や教材について理解し、計画を立て、見通しをもって学習し、その過程や達成状況を評価して次につなげるなど、学習の進め方を自ら調整していくこと。

「学びに向かう力・人間性等」について

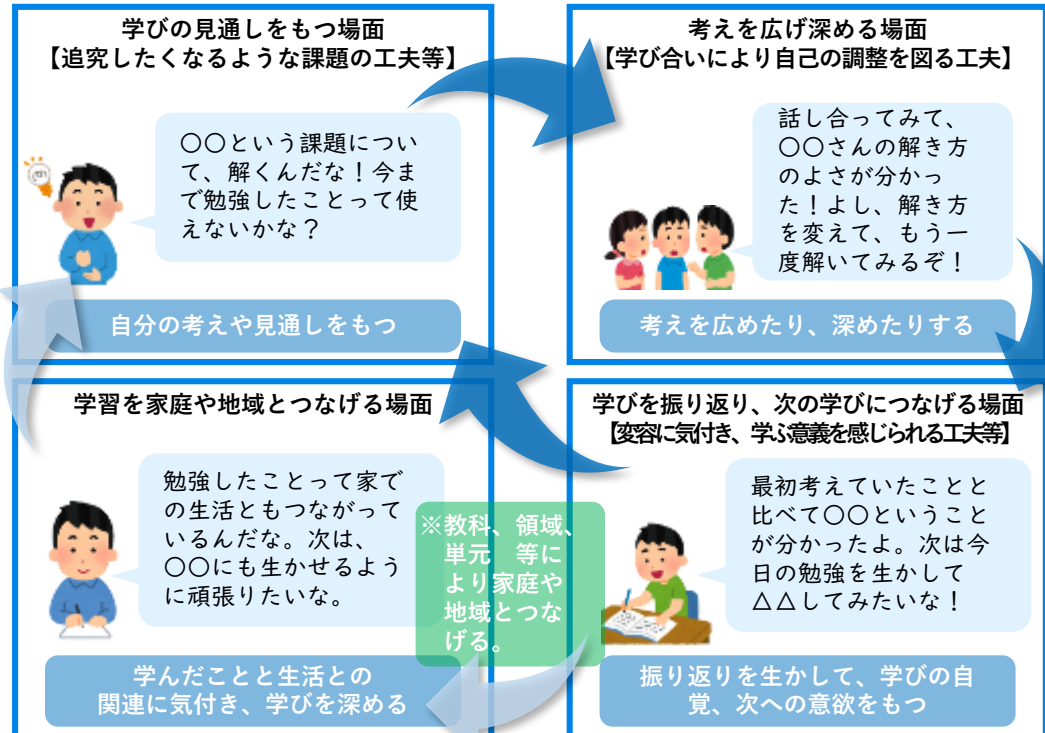
「学びに向かう力・人間性等」

現行学習指導要領において育成を目指す資質・能力のうち、「学びに向かう力、人間性等」については、「主体的に学習に取り組む態度」も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等を育成することとされています。

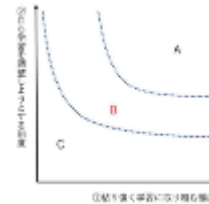
「学びに向かう力」と学習過程との関係

学習の目標や教材について理解し、計画を立て、見通しをもって学習し、その過程や達成状況を評価して次につなげるなど、学習の進め方を自ら調整していくことです。

学びに向かう力を育成する学習過程〈イメージ〉



「主体的に学習に取り組む態度」の評価に当たっては、右の2つの側面が相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられています。



- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

総合的な学習の時間の充実で学ぶ意義を

学んだことを活用する場面を設けることで、学ぶ意義を実感することができます。そのためには、「インタビューをする」「調べる」「情報を処理する」など、教科で身に付けた力を他の教科でも生かすといったカリキュラム・マネジメントの視点が大切です。その核となるのが総合的な学習の時間です。各教科で身に付けたことを活用して「考えるための技法」（小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編 より）を取り入れながら探究する学習過程を設定するようにしましょう。

STEAM教育

STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲でAを定義（『STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進について』文部科学省初等中等教育局教育課程課 より）しています。

県立高等学校では兵庫型STEAM教育として、異なる分野を総合的に学習し、文理を横断した複眼的視野により創造力や課題解決能力を高める教育をしています。義務教育段階においても、このような教育を見据えた実践を推進していくことが大切です。

事例一覧 1

小学校

国

1年「うみのかくれんぼ」

1年「じどう車くらべ」

1・2年「お手紙」

1・2年「学びに向かう力、人間性」

3年「はりねずみと金貨」

4年「アップとルーズで伝える」

5年「大造じいさんとガン」

6年「やまなし」

6年「『鳥獣戯画』を読む」

全学年「書くこと、話すこと、聞くこと」

全学年「読むこと」

算

3年「三角形」 5年「多角形」

4年「変わり方」

5年「比例」

5年「面積」①

5年「面積」②

6年「比例と反比例」

6年「資料の調べ方」①

6年「資料の調べ方」②

6年「資料の調べ方」③



事例一覧 2

小学校

理

3年「風とゴムの力のはたらき」

4年「ものの温度と体積」

4年「天気と1日の気温」

5年「ふりこのきまり」

事例一覧 3

中学校

国

1年「根拠を示して説明しよう」

1年「聞き上手になろう」

1年「聞き上手になろう」

2年「依頼状やお礼状を書こう」

2年「段落に見出しを付けよう」

2年「月夜の浜辺」

2年「古典新聞を作ろう」

3年「俳句の世界」

3年「人工知能との未来」等

数

1年「比例と反比例」

1年「比例と反比例」

1年「比例と反比例」

1年「比例と反比例」

1年「比例と反比例」

1年「比例と反比例」等

2年「箱ひげ図とデータの活用」

2年「箱ひげ図とデータの活用」

2年「箱ひげ図とデータの活用」

2年「箱ひげ図とデータの活用」

2年「図形の調べ方」



事例一覧 4

中 学 校

数

2年「図形の調べ方」

2年「図形の調べ方」

理

1年「レンズのはたらき」

2年「化学変化と熱の出入り」

2年「化学変化と熱の出入り」

2年「日本の四季の天気」

3年「エネルギー」



事例一覧 5

中 学 校

英

3年「まとまった英文を書こう」

3年「まとまった英文を書こう」

全学年「ビデオレターで学校を紹介しよう」

全学年「英語すごろく」

全学年「文章全体の概要をつかんで書こう」

全学年「英語で質問しよう」

全学年「トレーニング」

指導資料



学びのデジタルガイドプラス

学びのデジタルガイドの実践事例にちりばめた、子ども向けコーナー（デジタルガイドプラス）をまとめた形で提供しています。

ここでは、実際に体験する活動や実社会で生かされているというお話など、生きた学びへつなげる工夫が詰まっています。子ども達が気軽に取り組み、スムーズに学習内容の理解へつなげ、達成感を味わいながら、学習意欲の向上へつなげようとするものです。

ぜひ、日々の授業にプラスして提供してみてください。

既にある資料は『学びの宝庫』です！ぜひ活用を！

兵庫県教育委員会義務教育課



これまで、兵庫県では「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」について解説を行い、学校現場では様々な創意工夫が図られてきました。



平成29年度

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導体制



平成30年度

～児童生徒の課題に応じた授業改善の工夫と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の充実～



令和元年度

～確かな学力を育む授業づくり・指導体制の充実～



令和2年度

～「学びに向かう力」の育成に向けた授業づくり～



令和3年度

「学びに向かう力」の育成に向けた授業づくり～家庭や地域と連携した生活習慣や学習習慣の確立に向けて～

他にもこんな資料があります



「自分の考えをもち、表現する子をめざして～国語科における『活用・表現力』の育成に向けた指導方法の研究～」



きめ細かな見取りから確かな学力を育む授業改善へ



『活用・表現力』を高めるための授業改善リーフレット



子どもの「わかった」を大切にした授業改善のポイント



ひょうごつまずきポイント指導事例集 小学校国語



ひょうごつまずきポイント指導事例集 小学校算数



ひょうごつまずきポイント指導事例集 中学校国語



ひょうごつまずきポイント指導事例集 中学校数学